

愛媛県立図書館 利用案内

本を借りるとき

- 1 カウンターで「利用カード」を作りましょう。
 - ・愛媛県在住・在学の方は、だれでもカードを作ることができます。
 - ・本人の住所確認ができるもの(生徒手帳や保険証など)が必要です。
- 2 本は、**5冊まで3週間**借りられます。
 - ・カウンターに、借りたい本とカードを出してください。

本を返すとき

- 1 返す本をカウンターに出してください。(カードはいりません。)
 - ・次の予約が入っていない場合、延長ができます。
- 2 図書館が閉まっているときは、玄関外の返却ポストに入れてください。

本を探すとき

- 1 図書館の検索用コンピュータで探すことができます。
(書名や著者名で検索できます。)
- 2 インターネットや携帯電話から探すこともできます。
※分からないときには、カウンターでたずねてください。

本を予約するとき

- 1 予約カードに必要事項を記入して、カウンターに出してください。
- 2 パスワードを登録すると、インターネットや携帯電話から予約することもできます。 ※パスワードの登録は、カウンターで申請してください。

愛媛県立図書館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内
<https://www.ehimetosyokan.jp>
TEL:089-941-1441(代) FAX:089-941-1454



◆開館時間 (火～金) 9:40～19:00
(土日・祝日) 9:40～18:00
(子ども読書室は17:00まで)

◆休館日 月曜(祝日の場合は直後の平日)、館内整理日(月末)、
年末年始、特別整理期間(3月中10日以内で館長が定める日)

携帯サイト <https://www.ehimetosyokan.jp/winj/mobileopac/top.do>

スマートフォンサイト <https://www.ehimetosyokan.jp/winj/sp/top.do>

愛媛県立図書館 YAコーナー

YAつうしん



Vol. 52 2017. 10

★YAコーナー展示★10月～11月



走る人の物語

★新刊案内★

- ☆『部活で吹奏楽トランペット上達 BOOK』佛坂 咲千生／監修 メイツ出版
- ☆『15歳、ぬけがら』栗沢 まり／著 講談社
- ☆『中高の教科書でわかる経済学 マクロ篇』菅原 晃／著 河出書房新社
- ☆『あなたの隣にいる孤独』樋口 有介／著 文藝春秋
- ☆『ぐるりと』島崎 町／[著] ロクリン社
- ☆『理学部・工学部』佐藤 成美／著 ペリかん社
- ☆『世界に通じるマナーとコミュニケーション』横手 尚子／著 岩波書店
- ☆『ナースコール!』川上 途行／[著] ポプラ社
- ☆『僕はホルンを足で吹く』フェリックス・クレーザー／著 ヤマミュージックインテリメンツ
- ☆『歴史に「何を」学ぶのか』半藤 一利／著 筑摩書房



3階 YAコーナー展示 10月～11月

走る人の物語

えひめ国体の開催にあわせて、YA世代におススメの、走る人たちの物語を集めました。

『陸王』

池井戸潤/著 集英社

100年以上続く老舗の足袋業者「こはぜ屋」。会社の存続をかけ、全く新しいランニングシューズの開発に乗り出す。この秋、テレビドラマ化される話題作。ソールに必要な特許技術を持つ飯山、シューズマイスターの村野、実業団の陸上部選手の茂木…誇りをもって仕事に取り組む大人たちの姿がカッコいい！



『ハーレーじじいの背中』

坂井希久子/著 双葉社

高校3年の真里菜は、医学部志望の優等生。家族からの目に見えない重圧や、三角関係になった友人のこと、進路のこと……。全部が嫌になって、突然祖父「晴じい」の運転するハーレーに同乗、あてのない旅に出る。家族の歴史を知った真里菜は、やがて自分を見つめ直していく。



ご質問やご意見は、メールでも受け付けます。

アドレスは、ya@libnet.ehimetosyokan.jp

(件名に「YA メールレフ

アレンス」と入力してください。)

※ お名前、連絡先メールアドレスも忘れずに入力してください。

『風が吹いたり、花が散ったり』

朝倉宏景/著 角川書店

目が見えないランナーと一緒にマラソンを走る「伴走者」をしないかと突然誘われた亮磨^{りょうま}。訳ありの経歴で、今はフリーターの身。嘘をついたりすぐ逃げたり、流されやすかったり。最低で最悪な自分を変えたい。そんな思いで、走り始める。若手注目作家の最新作。



『ジェミーと走る夏』

エイドリアン・フォゲイン/著

千葉茂樹 訳 ポプラ社

走ることが大好きな少女キャス。隣の家で黒人一家が引っ越してきてから、その家の少女ジェミーと一緒にランニングの練習をするようになる。黒人嫌いの父には内緒で——。アメリカの人種差別、経済格差といった重いテーマを扱いながらも、読後感はさわやかな作品。



『車夫』

いとうみく/著 小峰書店

家庭の事情で高校を中退しなくてはならなかった吉瀬走^{きつせそう}。陸上部の先輩に誘われて、浅草で人力車の引き手である「車夫」の仕事始める。周囲の人に暖かく支えられながら成長していく少年の物語。読むと人力車に乗りたくなる、軽快な人力車の走りの描写も魅力！



他にも、『一瞬の風になれ』(佐藤多佳子)、『新釈 走れメロス』(森見登美彦)、『ラン』(森絵都)、『走ル』(羽田圭介)などを展示中です。